



第16号

発行所 香川自治会 委員会 香川新聞 広報

生活環境の整備促進を要望

松林地区の市政懇談会で

本年度松林地区「市長を囲む市政」についての話し合いの会は、八月三日午後一時から下赤羽公民館で各自治会の正副会長、婦人代表など三十数名が参加して行われ、埋金会長がこれに出席した。

市側は榎木市長・助役・総務部長など幹部の他企画・道路・下水道・衛生各課長ら十氏が出席、約三時間わたって終始和やかな雰囲気の中で話しあった。

先づ市長から市政全般にわたる現状説明と共に市政と取り組む姿勢として市民生活を優先に考え、今後一層住民と対話の機会を得て、いわゆる住民参加の市政を積極的に推進してゆきたい旨の挨拶があり懇談に入った。あらかじめ各自治会の市に対する要望事項をとりまとめ、市長に提出したものにつき逐一市側から説明がなされた。

当地区の要望については既に香川ニュースでも報道した通り、かつて市政懇談会で要望した道路舗装・下水道施設その他諸問題のうち本年度当初並びに六月補正予算の中で既に実施決定した以外の要望事項についても早急に実現されるよう特段の配慮を強く要望した。特に香川小学校の教室その他施設拡充について要望。近年急速に伸びている香川の現状から、本年度就学児童の急増することは必死であり、東急団地の完成に伴って一兩年を出しすぎて少くとも四五教室の不足することは明かであるか

この他香川に関連する事項及び広域的な問題に対する主な事項とこれに対する市の意向は次の通りである。

- (1) 東海岸・寒川線道路は一部地域住民の反対運動で停滞したが、計画通り強力に推進する。
- (2) 茅ヶ崎中北部に図書館を建設する問題は、現在施設の改築整備を図り、中北部には移動図書館の活動を一層充実強化したい。
- (3) 中北部地帯の警察派出所増設については今後前向きに検討する。
- (4) 火葬場の移転問題は、現在用地取得に困難しており、見通しはたっていない。
- (5) 香川駅ホーム上屋建設の国鉄との交渉経過は本号別項参照。駅の西出口は更に国鉄と折衝する駅西出口には危険防止策として鎖柵を設置する。
- (6) 香川地内水道専用路の舗装は、本年度は困難である。

駅ホーム上屋建設 実現を期し再度陳情

実現を期し再度陳情

香川駅ホームに上屋建設は、前年度来の懸案で未だに実現をみないまま今日に及んでいる。そこで本年度の予算編成期を控えているので、この際更にこの促進を図るため七月二十九日に市役所から町山市長公室長、池田企画課長、市議会議長から亀井隆義副議長、自治会から埋金会長が同行して上京。国鉄、東京西鉄道管理局に出向き営業部長の石田総務課長、高橋企画課長らに面接して、改めて現地利用者の不便を説明し、早期実現を強く要請した。

これに対して西鉄管理局の話では、これについては管轄の寒川駅長からも既に要望も出ており、利用客に不便をかけている事情も分るが、何分にも苦しい財政事情下にある現在、この問題だけを切り離して国鉄本社に具申ししても理解を得ることは難かしい。しかし西鉄局としては目下相模線全線にわたる経営上の諸問題を検討中であ

ホームに屋根を

香川駅ホームに早く屋根をつけ下さい。北陵生の定員増により一層乗降客がふえ、混雑をきわめています。雨の日にはびしょぬれになって電車到着を待っている群衆

少年野球大会で

中通と南が健闘

第十四回少年野球大会が八月一日から市営球場で五十四チームが参加して、にぎやかに開幕した。香川の各子ども会も闘志満々、優勝を期して健闘した。

門前チームは少年、ファイターチームと対戦、1対3で惜敗し、東チームは0対4でもしびに、原も浜見平のバッハローズに7対10で涙をのんだ。

しかし南チームは一回戦で上町を13対9で破り、九日にもしびDと戦い10対2で圧勝した。三回戦は十一日の十時から三が丘0対2と対戦、4対2で負けた。

また中通は一回戦は不戦勝、二回戦は海岸と戦い、7対2で勝った。三回戦は十日の二時半から浜見平チームと対戦し、4対8で敗れた。



練習に励む少年たち

青少年広場が完成

既報の青少年広場が七月末に完成した。ブランコと日よけ、ベンチが設けられただけで、施設は完備していないが、子どもたちはさっそくブランコに乗って遊んだり、のびのびと野球や花火をしたりして、うれしそうだった。

またママさんバレーも早速練習をするのに使用、ボールもはずんで楽しそうだった。

お年よりや親子づれ、散歩姿の人もあり、交通安全や騒音もなく静かな明るい楽しい広場ができたと、多くの人に喜ばしいかぎりいかして行くようにしよう。

香小PTAが

陳情書提出

七月三日のPTA実行委員会では校舎の増設と、学校周囲の外柵工事の継続及びそれに伴う正門の設置について審議した結果、市長及び議長あてに、全実行委員が署名捺印して陳情書を提出し、要求実現のための強力な促進運動を展開することを決定した。

陳情の理由は、生徒数の増加により現状のままでは、特別室及び管理室を圧縮もしくは一学級の児

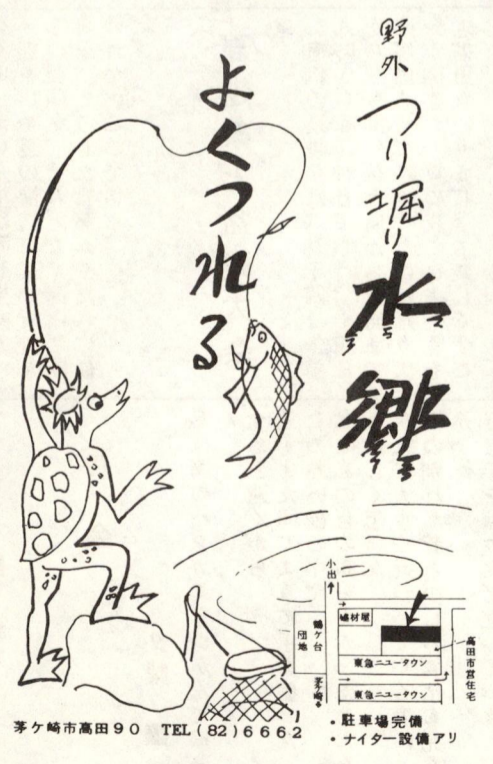
二投書規定二

1. 十五字詰縦書き四百字以内。
2. 住所、組又は団体名(電話番号を明記下されば速かに回答可)。
3. 宛先 一三一九伊東、香川ニュース編集部、電八二一七四二二。
4. 切 毎月七日まで。
5. 原稿不返却、採否簡約は乞了承認。

聖恵幼稚園

47年度入園願書受付中

- ◎聖恵音楽教室
ピアノ・エレクトーン・ヴァイオリン・声楽科 (教師 三名)
 - ◎書道教室
小・中・高・一般
 - ◎絵画教室
幼児・小学生 (各教室とも随時入会可)
- 香川中通り一三三六 TEL(八二)六六五四



野外つり堀り水郷 茅ヶ崎市高田90 TEL(82)6662

広里さんの詩が西湖に

犠牲者の慰霊碑建つ

八月一日西湖に建てられた詩碑の除幕式が前内田厚相を迎えて盛大に挙行された。

この碑面には香川五八〇番地写真業広里多美さんの「ああ西湖よ」という詩が刻まれている。

昭和四十一年九月の二十六号台風で足和田村の西湖と根場部落が山津波に襲われ大惨事となった現場を訪れた広里さんが、強い感動を覚えた詩を作った。その後慰霊碑建立を決意し立ち上ったが、思うようにゆかずやめてしまおうかと思ったりしたが、知人に励まされ遂に実現した次第である。

詩文は次のとおりである。

ああ 西湖よ
いつの日も父といつの日も母と
あたたかく眺めた湖



詩碑除幕式での広里さん

富士五湖の中で一番神秘的な美しい湖の西湖周辺にある山梨県足和田村西湖・根場部落が、不幸にも昭和四十一年九月二十五日二十六号台風山津波のために一瞬のうちに全滅し、九十四名の老若男女の皆様が、土砂と共に西湖に押し流されました。人間としてこの世に生きてきたからには幸福な一生でありたいとどんなにか念願していたでしょうに、天災とはいえ誠に哀れの一言につきまします。

四十二年十一月五日と四十五年八月十八日に私は、

あはれ秋の日 平和は破れ
ああ 西湖よ 悲しい湖
西湖よ 西湖よ
夕やけの空 涙に映えて
父も母も 今は亡き

いつの日も兄といつの日も姉と
喜びを包んだ山々
あはれ秋の日 はげしい嵐に
ああ 西湖よ 悲しい湖
西湖よ 西湖よ
尊い命 湖底に深く
兄も姉も 今は亡き
なおこれに関して広里さんが寄稿されたので次に掲げる。

ああ、西湖よ！
南 広里多美

現地を訪れ身をもちてこの悲しみを知りました。しかし目に残る山肌の爪跡を見ればいかに人々の皆様の霊に思わず手を合せないではいられないと思えます。更に九十七メートルの冷たい湖底には、十三名の御遺体が今なお眠っているのです。私はこの皆様の死を絶對無駄にたくなく、人間尊重の祈りをこめて「ああ、西湖よ」の詩を万感胸迫る思いで書きました。拙い詩でありながら真心は人々の心を動かす、再びこのような惨事を招かない記念碑を作る運動に拡大し、詩文は当時の厚生大臣内田常雄先生が書き、土地は地元部落が、歌碑は茅ヶ崎市長根木先生を始め善意の多くの皆様の御厚志によりまして建立することになり、八月一日秀峰富士の雄姿を目前に迎える湖畔に内田先生を迎えて盛大な除幕式を行うことができました。紙上をお借り致しまして御協力下さいました香川の皆様から御礼申し上げます。

善意はこれで終止されたものではありません。根場部落には、小学五年生と中学一年生の女の子の孤児が二人あります。どうか優しいお父さん、お母さん、兄さん姉さんとなって、激励の手紙でもさしあげて下さいませ。

今は亡き人々の御冥福を心から祈り、この世に愛の灯を燃やすのも、また一つの人間的な生きる道ではないでしょうか。

日本語考

U生

「近くに便所はありませんか？」
「はあ？」
「お手洗いですよ」
「ああトイレですか」
「はい先日のことだ。思いたつて二・三日旅行した旅先での会話である。若い娘さんであったせいかわず近づくにいたるに聞いたわけだが、どうも聞きとれなかった日本語でこういうことを聞くのはいけなかったようである。

若い人たちにこれは常識として教えるべきだ。私も少し外来語を勉強しなればいけないうると思うことが度もあるが、別に外国に行くわけがない外来語など勉強してもしょうがないと思つて、なりゆきに任せている。

名詞だの動詞だの形容詞だの、ふだんそれとなく使っているが、日本語だつて随分難かしい。

日常の会話程度であれば事欠くことはないが、それにしては驚くにも外来語がまかり通るのには驚いてしまふ。

それもれっきとしたお役所からの通知や、新聞・テレビからやたらと飛び出してくる。

一例をあげればこんな所だ。
「マイカーでガールフレンドとドライブ中、インターチェンジでガイドレールにぶつかる」
「マスコミによつてPRされたヌードスターが東洋のマイアミでリサイタル、ハイティーンに大もて」
「プールのサイドはハワイアンリズムののってダンスをするハイティーンがいっぱい」
こういう言葉はしょっちゅう聞かれる言葉で、すでに日本語にされてしまったといえればそれまでかもしれないが、試みに外人にこういう言葉が通じるかどうか話しかけてみてはどうだろうか？ 相手はきつと考えこんでしまふだろう。

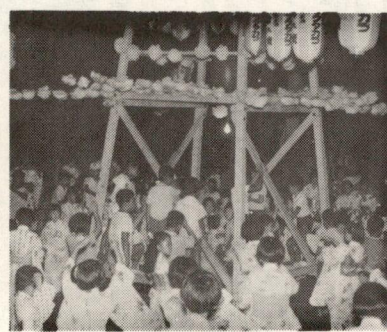
外国の言葉であるならしつかりとしたその国の言葉を使いたいものだ。日本にも昔から使いたくいな言葉がある。特に性に関する会話だ。一言で肉体の一部を表現するといふようなことは、なかなかずばりいえるものではない。

それとなく解るようによつてまたそれとなく解るものであるが、適当な言葉がなければそれではよいではないかと思つた。これをずばり日本語で話すと、「いやらしい人だ」「あの人おかしな人だ」「エッチだ」などといわれるが、「お手洗いですよ」

「ボルノだ」など言葉を変えても全くいっている事は同じ意味だ。喫茶店や夏の海辺で若い女性たちの会話を、それとなく聞いてみると、こうした言葉がやたらに使われているのである。

夏越祭と盆踊大会

恒例の夏越祭は八月十四日午前九時から諏訪神社で挙行、十四日から三日間午後七時から十時まで同境内広場でにぎやかに盆踊り大会が開かれ、夏の夜のひとときを老若男女いりまじつて楽しくすごした。



盆踊り風景

再会

夕梨 讓

私は胸のハンカチをつかんで振つくと速くから
君もまた同じように手を振った
この熱い砂の中で
私は私の目の誤らなかつたことをうれしく思つた
次第に大きく近づいてくる君に
あの別れた昔と少しの変化も見なかつた
私は手を振りたが立って来た
君は白い砂をけて走って来た
君の背後には青い空が続いていた
そして君の足元には白い静かな漂いがあつた
それは君の手をとつた
それは懐かしいあのやさしい手で
あつた
八やつぱり来てくれた
君は八やつぱり来たまま強
く握りかえしてくれた
君と私の会話はそれだけであつた
まぶしい浜の中で君との再会であつた

茅花会

八月投句集

大胡 悦子
蚊遣り香打ちの素足あらわにて
盆踊り囃子に合わせ浴衣の児
亀井 湘南
夕虹の自然現象たえけり
迎へ火に兄の面かげ思ひけり
神妙に棚経僧の緋衣
古里や噴井に浮かぶ心太
自我経を一巻祭し魂まつる
井上 喜枝
幼き日聞いた日ぐらし父恋し
夏帯をきりりと締めれば膝揃う
杏沢 みや
遠雷や仕方なき事又思ふ
海渡る夕風涼し子蟹追う
柳田ふじ子
病葉にふと想う去りし人
連れ立ちて畦に花火の夜を更かす

長島 久江
原爆忌夜のひととき子に聞かす
休暇得て子と炎天の屋根を塗る
ジョッキーに憂さを捨て来し繩の
れん
打水やほめられて児の声はしゃぐ
斉藤 ハツ
遠花火孫の大きな目が浮かぶ
盆踊り月傾きて輪がくずれ
藤村 球子
きりきりと紙を束ねて毛虫焼く
片陰に入りて女の口説かな
見世物となりて鶴匠の真顔なる
虹消えて木曾節となる舟下り
木村 夢峯
雲の峯アボロに宇宙の夜明かな
年毎に独り生え咲く銭葵